

学力向上に効果のある取組事例

臼杵市立東中学校

③主体的に学習に取り組む態度の涵養

取組の具体①

○「生徒と共に創る授業」として学習図書委員会との連携

学習図書委員会の活動

・「Let's 授業磨き」

授業磨きの意識を高め、より良い授業にする活動。生徒は以下の4項目を意識して授業に参加し、毎授業後に教科担当の評価をもらう。帰りの学活で、その日の総括をし、次の日の授業磨きに生かす。

A...2分前着席・30秒間黙想・大きな声であいさつ

K...正しい姿勢・忘れ物ゼロ・挙手発言

N...相づち・反応・意思表示

S...教え合い、深め合い、課題解決

・「Question Time」

2分前着席の後、班内で前時や単元の学習内容について出題し合うことで、前時までの復習をして、本時の授業に臨む。

・「生徒と共に創る授業評価アンケート」の分析

アンケートの生徒自身に関する項目の結果を分析することで、自分やクラスの授業への取り組みを見直し、学習図書委員会として課題の改善を図るための活動を考え、実施する。

Let's 授業磨き

A 2分前着席、30秒間黙想、大きな声であいさつ

K 正しい姿勢、忘れ物ゼロ、挙手発言

N 相づち、反応、意思表示

S 教え合い、深め合い、課題解決



授業でAKNS

「Let's 授業磨き」

集計表に記入し、各クラスの弱点を視覚化



授業の様子 S: 教え合い・深め合い・課題解決
K: 挙手発言



取組の具体②

○生徒との校内研究のテーマ・「目指す生徒の姿」の共有

生徒への周知

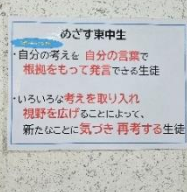
・全校集会や校内研究についての説明のプリント配布、校内での掲示、学習図書委員会との連携により、生徒に校内研究のテーマと「目指す生徒の姿」を周知することで、目的や目指す姿、取り組み内容を共有し、生徒が主体的に取り組むための意識付けをする。

・各種学力テストの結果と分析、今までの学習の成果や改善のための取り組みを、全校集会や各教科で生徒と共有することで、生徒が主体的に取り組むための意識付けをする。

学習図書委員会の活動

・「トークタイム」

本校のめざす生徒像である「授業やあらゆる場面で、自分の考えを自分の言葉で根拠をもって発言できる生徒」の実現のために、毎週木曜日に決められたお題について、ペアで根拠をもって自分の意見を交流し、根拠をもって発言する力をつける。



「目指す生徒の姿」校内あちこちに掲示

学習図書委員の活動「トークタイム」

トークタイム

(目的) 交流を深め、根拠を持って発言する力を高める。

(活動) ペアでお題について1分間話し合い、答えを出す。学習図書委員は集計。

○各種学力調査の結果分析から

・校内研究で「授業やあらゆる場面で自分の考えを自分の言葉で根拠をもって発言できる生徒」を、重点的に指導をしている結果として、2年・3年共に国語・社会・数学・理科において「根拠を明確にして説明する」ような小問の正答率や無回答率が市・県・全国と比較して好結果だった。

例: 2年数学「表を理解し、判断して理由を説明する」問題の小問正答率が県と比較して18.9%高かった。